

1. ウランバートル市内に12店舗を展開するM-martを訪問



M-martのS. Erdenetungalag人事部長
(左から3人目)とともに記念撮影

先日からご紹介している通り、DPUB2はさまざまな企業を訪問し、より良い障害者雇用の実現に向けて協議を重ねています。

今日は、モンゴル大手企業「マックスグループ」の子会社の1つ、スーパーマーケットのM-martを訪問した時の様子をお伝えしましょう。M-martはウランバートル市内に12店舗あり、従業員数は3000人以上に上ります。この日は、同社の人事部長を務めるS. Erdenetungalagさんをはじめ、小売事務担当者と人事担当者の方々にお会いしました。

マックスグループの指導の下、M-martは全12店舗すべてで障害者の雇用を進めていますが、今年に入ってから

は、残念ながら給与や家庭などの事情で退職者も出ているそうです。

S. Erdenetungalag部長によれば、現在、同社に在籍している12人の障害者のうち、数人が1年半以上働いているほか、10年以上にわたって勤務している聴覚障害者もいらっしゃるということでした。

これまで訪問した他の企業と同様、M-martも社内の障害者といかにコミュニケーションを取り、他の社員の意識をいかに啓発すれば良いかという面で課題を感じていることが分かりました。こうした問題意識から、同社は、DPUB2が開催する4日間の研修に参加することにしたそうです。DPUB2は、モンゴルで障害者雇用を促進するためにM-martやマックスグループと協力できることを嬉しく思っています。

2. 第1回企業啓発人材育成研修

DPUB2は4月18日～21日、障害当事者を対象に「第1回企業啓発人材育成研修」を開きました。「第1回企業啓発人材育成研修」には、NGOから精神障害や聴覚障害、身体障害、視覚障害がある当事者19人が参加され、修了証を授与されました。



「第1回企業啓発人材育成研修」記念写真

目次

ウランバートル
市内に12店舗を展
開するM-martを
訪問 1

第1回企業啓発人材
育成研修 2

第2回ジョブコーチ
入門セミナーを
成功裏に開催
しました 3

3. 第2回ジョブコーチ入門セミナーを成功裏に開催しました

DPUB2は、5月2日～3日に第2回ジョブコーチ入門セミナーを開催しました。3月下旬に開かれた第1回目セミナーはオンラインで行われましたが、第2回目は日本人専門家3名がモンゴルに来て、直接、講義を行いました。



小川浩先生はご自身のジョブコーチとしての経験・アセスメントについて紹介しています。



酒井先生は「企業との交渉」グループワーク説明を行っています。

初日は、「就労支援の全体プロセスとジョブコーチの役割」、「アセスメントとジョブマッチング」、「職場における集中支援」などの講義が行われ、参加者から多くの質問が出ましたが、小川浩先生はご自身のジョブコーチとしての経験も踏まえ、ひとつひとつ丁寧に回答しました。



稲葉先生は「わかりやすく教える技術」グループワークの説明を行っています。



参加者が障害者を雇用してもらえるよう企業と交渉するグループワークを行っています。

2日目は、「企業との交渉」、「わかりやすく教える技術」などのグループワークを行いました。参加者がジョブコーチ役となって、障害者を雇用してもらえるよう企業と交渉したり、知的障害者に仕事を教えるための具体的な方法を学んだりしました。

閉会式では、小川先生が「モンゴル政府が国際協力機構（JICA）と連携して、ジョブコーチ就労支援サービスを実施することを非常に嬉しく思っています。今後、モンゴルでこのサービスが普及することを願っています」と挨拶しました。



参加者が障害者を雇用してもらえるよう企業と交渉するグループワークを行っています。

✉ dpub.jica@gmail.com

📍 The Ministry of Labor and Social Protection, 4th khoroo, Chingeltei district, United Nation's street-5, Ulaanbaatar 15160, Mongolia

📘 <https://www.facebook.com/jicadpub1and2>

🌐 <https://www.jica.go.jp/project/mongolia/030/index.html>

